

F P D（フラットパネルディテクタ）搭載
胃バリウム検査装置が 2019年4月より稼働しています



従来の装置と比較

装置の特徴



①被ばく線量の低減

X線量が1/3程度低減できました。
受診者にやさしい装置です。

②画質の向上

高性能F P Dと画像処理技術により
細かい部分まできれいに見えます。



検査の質の向上！！

胃を観察するモニタが大画面となり、胃全体が
すばやくチェックでき、**検査効率があがりました。**
装置の機能がよくなり、技術を後押ししてくれます。
今まで以上に、**診断に有効な画像の提供ができます。**